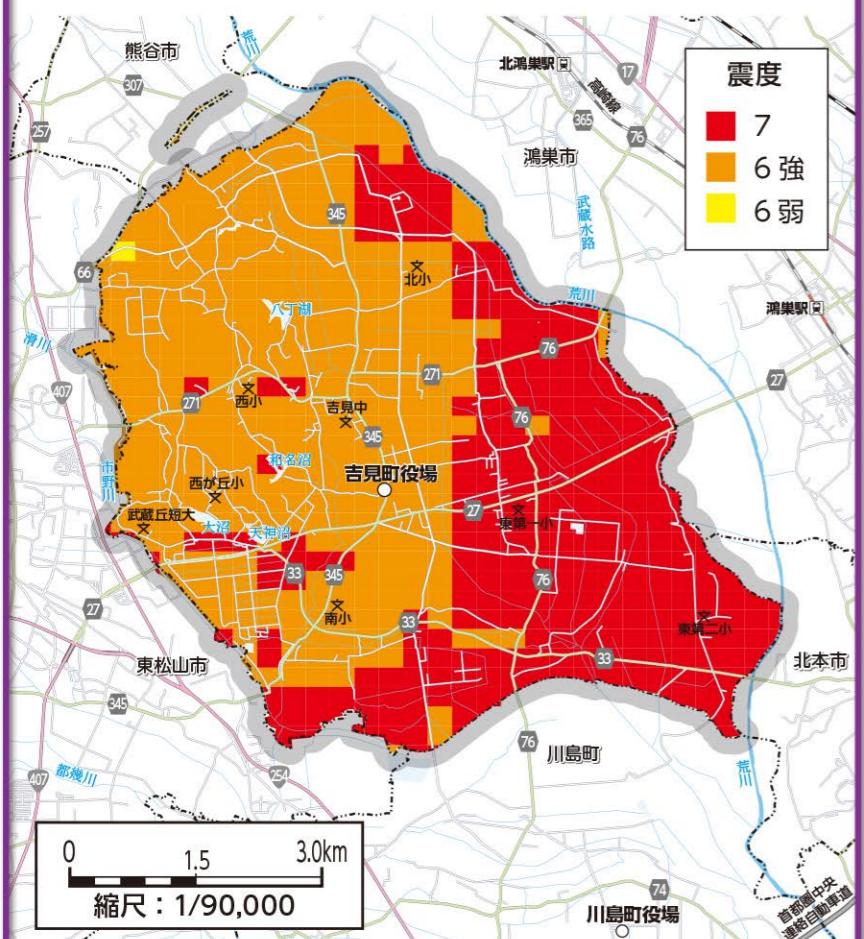


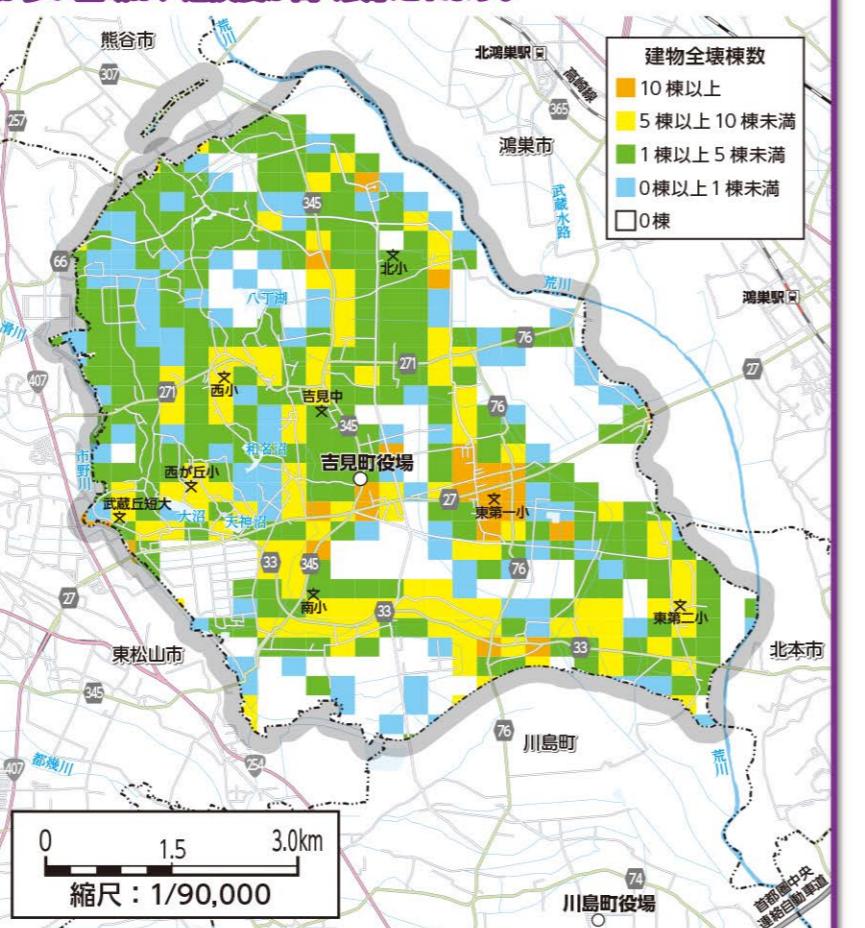
地表震度分布図

この地図は、埼玉県が行った地震被害想定調査において、吉見町の被害が最も大きくなる関東平野北西縁断層帯地震が発生した場合の震度分布を250mメッシュで表示したものです。



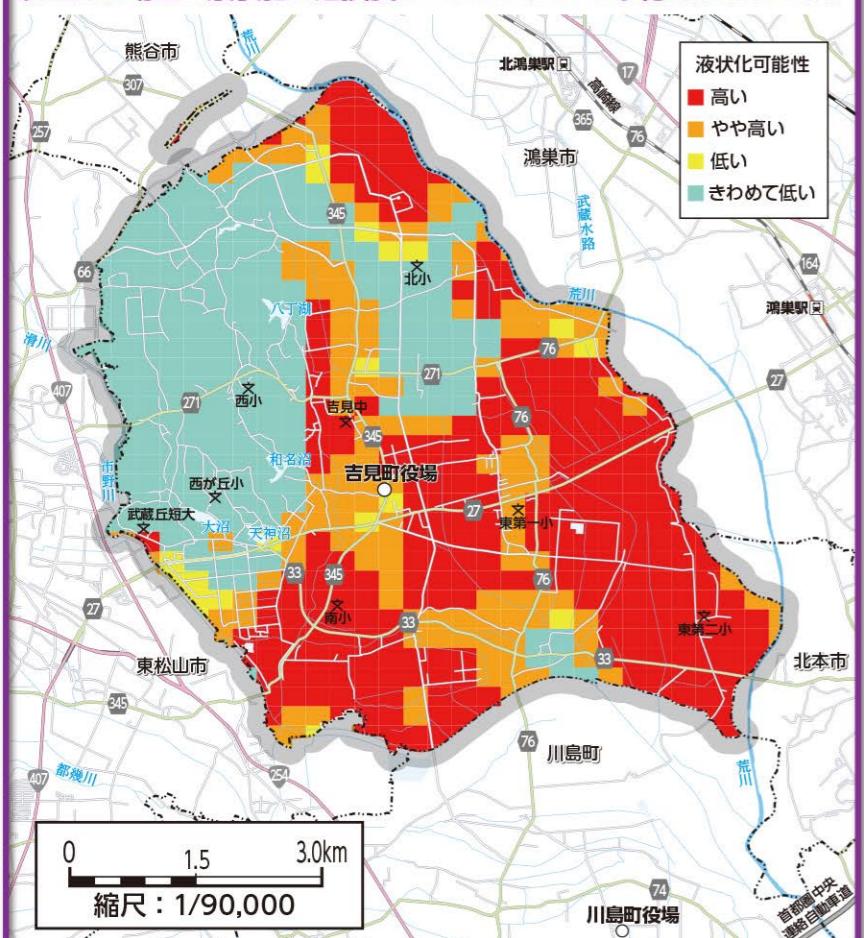
建物全壊棟数分布図

この地図は、埼玉県が地表震度分布図の震度分布をもとに、構造別・建築年次の建物データから倒壊被害の危険度を予測し、250mメッシュで表示したものです。昭和56年5月31日以前の建物の割合が多い区域は、危険度が高く表示されます。



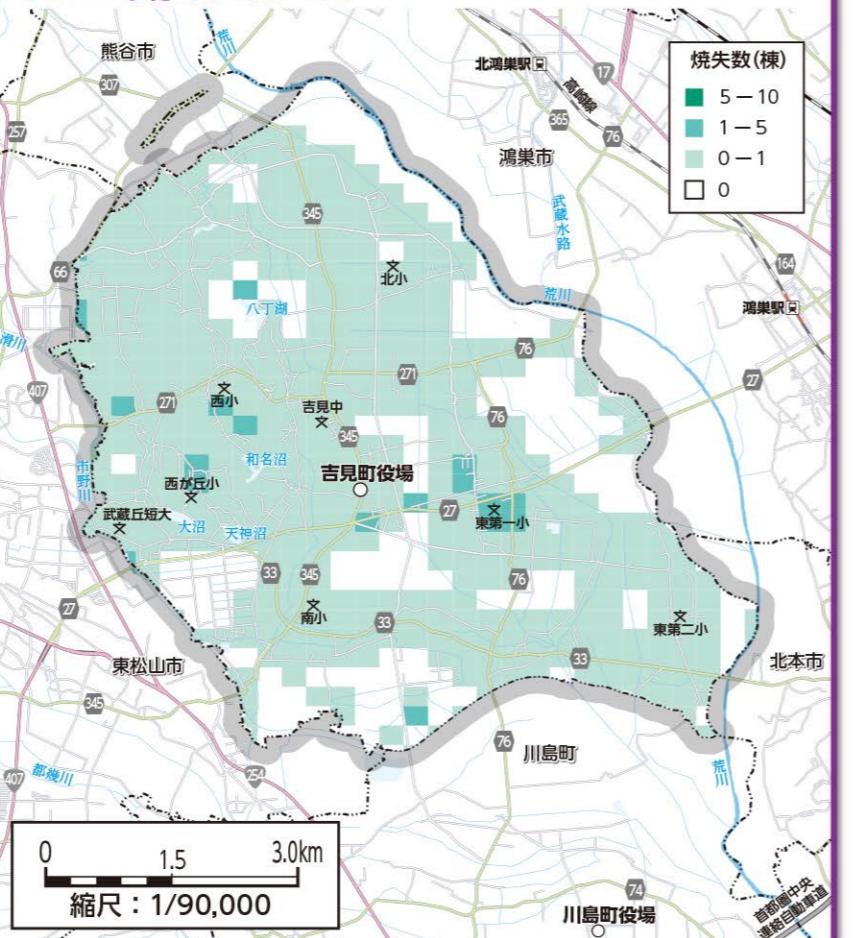
液状化可能性分布図

液状化とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が震動により液体状になる現象です。砂質の地盤で起り、地盤の上の建物を傾けたり浮き上がらせたりします。この地図は、マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合の液状化の危険度を250mメッシュで表示したものです。



焼失棟数予測結果図

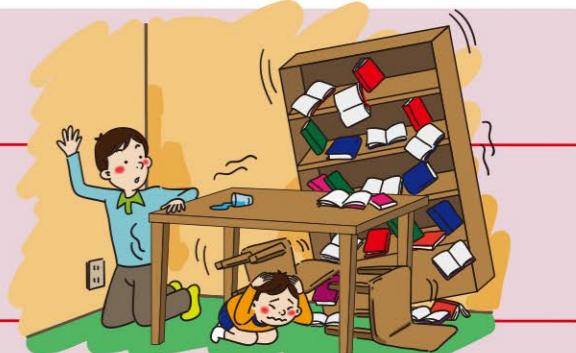
この地図は、埼玉県が消防力に関する基礎データを収集すると共に、建物単体データを基にして延焼クラスター（延焼連携共同体）データベースを作成し、焼失棟数の想定される地区を判定し、250mメッシュで表示したものです。



地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- 身の安全を確保する



1~2分

3分

5分

10分
数時間
3日

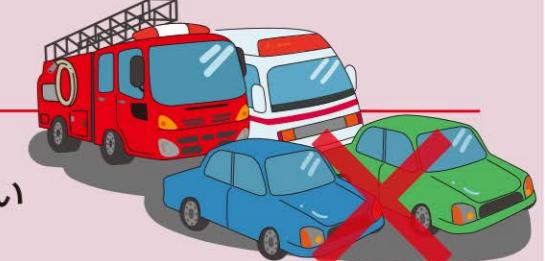
揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ちついて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| ● 隣近所に声をかけよう | ● 要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う |
| ● 行方不明者はいないかの確認 | ● ケガ人はいないか |
| ● 消火器を使う | ● 余震に注意 |
| ● 初期消火 | ● 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーをおろす・ガスの元栓を閉める |



ラジオなどで正しい情報を

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ● 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食糧は蓄えているものでまかなう 最低限3日間（推奨7日間）の飲料水と
- 災害・被害情報の収集 ● 壊れた家に入らない 食糧の備蓄をしておく
- 近くの人の救出・救護 ● 余震にも十分注意する

屋内にいた場合

家中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかにする。（コンセントやガスの元栓の処置も忘れない）
- 乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らないようにする。（ガラスの破片などでケガをする）



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。（煙などできる限り吸わないように、姿勢を低くし、口をハンカチなどで軽くふさぎ、避難をする）

屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護する。
- 建物から離れ、安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

山沿い・谷沿い

- 地震により土砂災害が発生するおそれがあるため、安全な場所へ避難する。